

# 直播栽培情報 第3号 \*カルパー直播

◇直播の生育では、葉齡の展開は平年よりやや早く進んでいますが、葉令を揃えて比較すると、茎数はやや少なめとなっています。  
 ◇今後、急速に茎数が増加することから、茎数が1m当たり100本程度となったほ場では、準じて遅れず中干しを開始しましょう。ただし、一度に乾かし過ぎないように注意しましょう。

現在の生育状況（6月8日調査） ※県内湛水直播9ヶ所平均（カルパー粉衣）

	播種日	苗立数 (本/m <sup>2</sup> )	草丈(cm)	茎数		葉令	葉色
				(本/m)	(本/m <sup>2</sup> )		
H30平均	5/1	64	25.2	77	254	6.3	4.3
H29平均	5/3	73	25.5	94	311	6.2	4.2
近年値 (H20~29年平均)	5/2	69	25.1	79	262	6.0	4.2

## 1. 中干し

- 中干しに入る前に、5mに1本を目安に溝掘りを行い、ほ場への入排水の効率を高める。
- 茎数が、**100本/m程度を確保**したら、速やかに**中干し**を開始し、稲および根の健全化を図る。播種後の田干しにより、田面が固い場合は、軽い田干し後、間断かん水に切替える。

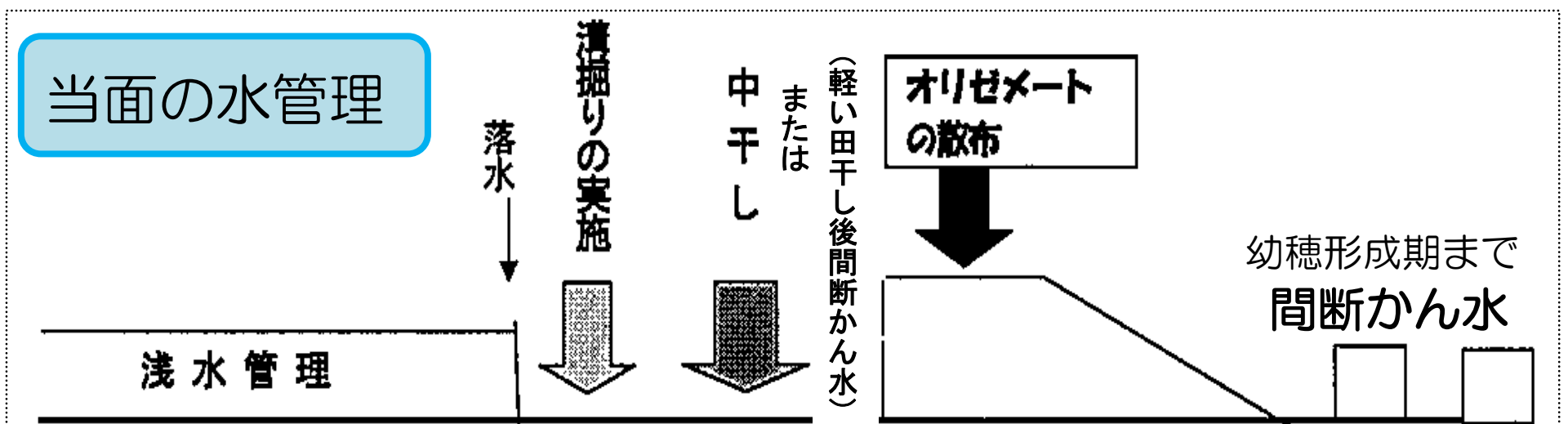


## 2. いもち病防除

○直播は、いもち病の予防粒剤を必ず散布する。

**6月20日頃までに オリゼメート1kg粒剤 1kg/m<sup>2</sup>散布**

(※散布後5日程度は「湛水状態」を維持する。「落水」や「かけ流し」をしない。)



### 3. 中間追肥

○不足している加里や珪酸質資材を積極的に施用し、病害虫に対する抵抗力や耐倒伏性を高める。

#### 6月中旬 けい酸加里フシミア34 20kg/10a

※粒が溶ける程度の水量（ごく浅水からヒタヒタ水状態）で散布する。

### 4. 雑草防除

○残草が見られる場合は、発生状況に応じて除草剤を散布する。

○薬剤は、直播に登録のあるものを用い、使用時期や使用量、使用回数を確認のうえ、使用基準を厳守する。

除草剤名・適用雑草	使用量(10a 当り)	使用時期	水管理
ザーベックスDX1 扣粒剤 水田1年生雑草 マツバイ、杣刈、ミズガヤツリ、 ウリカ、ヒルムシ	1kg	イネ5葉期～、ノビエ3葉期まで ただし収穫60日前まで 砂壤土～埴土 ※低温(15℃以下)や高温(30℃以上) が予想される場合の使用は避ける。	湛水状態で散布し、 5日間は湛水状態を 保つ。 (7日間止水)
アクシズMX1 扣粒剤 水田1年生雑草 マツバイ、杣刈、ミズガヤツリ、 ヒルムシ、セ	1kg	イネ3葉期～、ノビエ3葉期まで ただし収穫45日前まで 砂壤土～埴土 ※低温(15℃以下)や高温(30℃以上) が予想される場合の使用は避ける。	
クリンチャー1 扣粒剤 ルイ	1.5kg	播種後25日～、ノビエ5葉期 ただし収穫30日前まで 砂壤土～埴土	
クリンチャーEW 水田1年生イネ科雑草	100ml (希釈水量25～100ℓ)	播種後10日～、ノビエ5葉期 ただし収穫30日前まで 砂壤土～埴土	雑草茎葉部に薬剤が 付着するよう散布す る(落水～浅水状態 で散布)。 展着剤を加用する。
クリンチャーバスME液剤 水田1年生雑草 マツバイ、杣刈	1,000ml (希釈水量70～100ℓ)	播種後10日～、ノビエ5葉期 ただし収穫50日前まで 砂壤土～埴土	晴天時に、落水状態 で散布し、3～4日 間は入水、落水とも しない。

### 5. カメムシ対策

○出穂直前や出穂後に草刈りを行うとカメムシ類を水田内に追い込むことになるので、7月10日頃までに畦畔等の草刈りを終える。

- ・また、出穂期近くに畦畔除草剤を散布すると、着色米が発生しやすくなるので、畦畔除草剤の使用は7月上旬頃までに終える。

#### 「水田畦畔等の草刈り運動」

運動期間 7月1日～10日  
一斉草刈り日 7月7日～8日

【お問い合わせは】 砺波農林振興センター 32-8113

となみ野農業協同組合経済部 32-8619 又は、最寄りの支店へお問い合わせ下さい。

支店名	TEL	支店名	TEL	支店名	TEL
中央支店	32-3107	北部支店	32-2754	庄西支店	33-4130
庄東支店	37-0047	福野支店	22-3018	井波中央支店	82-1552

栽培記録簿に作業ごとの栽培状況を忘れず記帳しましょう。